
－ダイキン「第11回 現代人の空気感調査」－
総合報告書

夏の空気と肌に関する意識調査

平成19年8月

ダイキン工業株式会社

<目次>

I. 調査概要	1
1. 調査目的	2
2. 調査の実施要領	2
3. 回答者の属性	3
II. 調査結果	4
1. 夏の部屋の空気で最も気になっていること	5
2. 最も気になっていることに対して行なっている対策	6
3. 夏の部屋の空気で気になるのは温度と湿度のどちら	7
4. 湿度が特に気になる部屋	8
5. 湿度で気になるのは湿気と乾燥のどちら	9
6. 湿度で気になる内容	10
7. 空気は肌に影響があると思うか	11
8. 肌に影響すると思うもの	13
9. エアコンは肌によくないと思うか	15
10. エアコンの効きすぎによる肌の乾燥が気になった経験の有無	17
11. エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になる場所	19
12. エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になった内容	21
13. 肌の乾燥対策に対する関心度	24
14. 肌の乾燥対策に関心を持つ理由	26
15. 行っている肌の乾燥対策	28
16. 化粧品等で肌を整える男性が増えていることに対する思い	30
17. 空気環境や気候条件が肌に最もよいと思う地域	32
18. その地域の空気環境や気候条件が肌によいと思う理由	33

I . 調查概要

1. 調査目的

ダイキン工業では、“空気”にこだわり、また空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”について、より多くの方々に関心を持っていただきたいと考え、2002年から“空気”に関する現代人の意識を探るための「現代人の空気感調査」を実施してきました。

11回目となる今回の調査は、夏の暑い時期を迎え、男女の夏の空気と肌に対する意識を浮き彫りにするために、首都圏及び関西圏に居住する20代から50代の男女800人を対象に、空気環境と肌についてアンケートを実施しました。

2. 調査の実施要領

(1) 調査対象及びサンプル数：首都圏及び関西圏に居住する男女、800人

<サンプル配分>

		合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
首都圏	男性	200	50	50	50	50
	女性	200	50	50	50	50
関西圏	男性	200	50	50	50	50
	女性	200	50	50	50	50

首都圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

関西圏：大阪府、京都府、兵庫県

(2) 調査方法：インターネット調査

(3) 調査時期：2007年7月13日（金）～7月17日（火）

(4) 調査項目：

- ・夏の部屋の空気でもっと気になっていることと、その対策
- ・夏の部屋の空気では温度と湿度のどちらが気になるか
- ・どこの部屋の湿度が特に気になるか
- ・湿度は湿気と乾燥のどちらが気になるか
- ・空気は肌に影響があると思うか、また、何が最も肌に影響すると思うか
- ・エアコンは肌によくないと思うか
- ・エアコンの効きすぎによる肌の乾燥が気になったことがあるか、どんな場所の乾燥が気になるか
- ・肌の乾燥対策に関心があるか、及び関心のある理由、肌の乾燥対策
- ・男性が化粧品で肌を整えることをどう思うか
- ・空気環境や気候条件が肌によい都道府県と、そこが肌によいと思う理由
- ・回答者の職業

3. 回答者の属性

■ 職業

上段：実数、下段：比率（単位＝％）

	サンプル数	会社員・公務員（外勤）	会社員・公務員（内勤）	会社員・公務員（現業部門）	自営業	専業主婦	学生	無職	その他
全体	800 100.0	69 8.6	303 37.9	36 4.5	74 9.3	182 22.8	39 4.9	39 4.9	58 7.3
【性別】男性	400 100.0	58 14.5	192 48.0	30 7.5	58 14.5	- -	23 5.8	26 6.5	13 3.3
女性	400 100.0	11 2.8	111 27.8	6 1.5	16 4.0	182 45.5	16 4.0	13 3.3	45 11.3
【年令】20代	200 100.0	14 7.0	82 41.0	4 2.0	5 2.5	28 14.0	39 19.5	13 6.5	15 7.5
30代	200 100.0	22 11.0	85 42.5	11 5.5	15 7.5	49 24.5	- -	8 4.0	10 5.0
40代	200 100.0	19 9.5	72 36.0	15 7.5	26 13.0	45 22.5	- -	5 2.5	18 9.0
50代	200 100.0	14 7.0	64 32.0	6 3.0	28 14.0	60 30.0	- -	13 6.5	15 7.5

■ 居住地

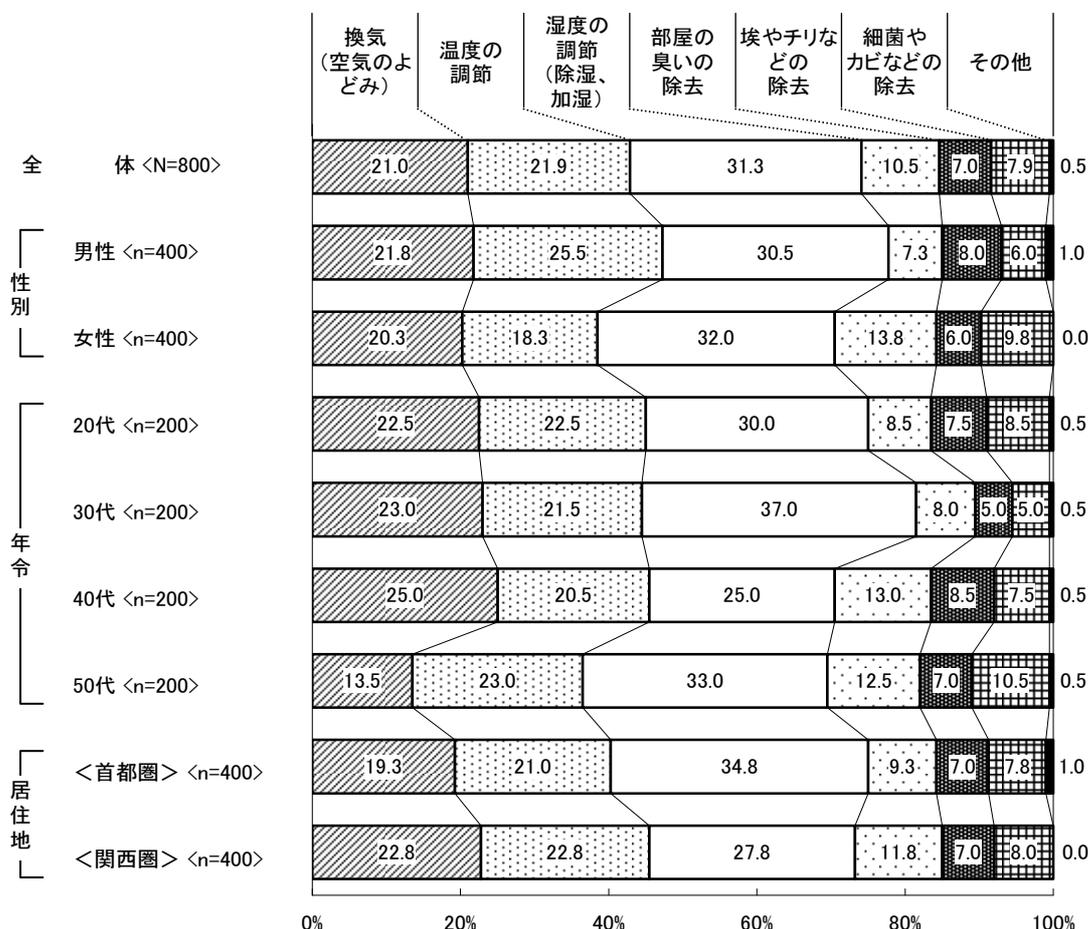
	サンプル数	東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	大阪府	京都府	兵庫県
全体	800 100.0	162 20.3	104 13.0	63 7.9	71 8.9	205 25.6	63 7.9	132 16.5
【性別】男性	400 100.0	73 18.3	58 14.5	33 8.3	36 9.0	95 23.8	38 9.5	67 16.8
女性	400 100.0	89 22.3	46 11.5	30 7.5	35 8.8	110 27.5	25 6.3	65 16.3
【年令】20代	200 100.0	37 18.5	30 15.0	14 7.0	19 9.5	51 25.5	12 6.0	37 18.5
30代	200 100.0	46 23.0	22 11.0	15 7.5	17 8.5	50 25.0	14 7.0	36 18.0
40代	200 100.0	42 21.0	23 11.5	19 9.5	16 8.0	53 26.5	19 9.5	28 14.0
50代	200 100.0	37 18.5	29 14.5	15 7.5	19 9.5	51 25.5	18 9.0	31 15.5

II. 調査結果

1. 夏の部屋の空気で最も気になっていること

「湿度の調節」(31.3%)がトップ。「温度の調節」(21.9%)、「換気」(21.0%)が続く。
 ◆「湿度の調節」は<30代>(37.0%)が特に多い。

図1. 夏の部屋の空気で最も気になっていること



夏の時期、部屋の空気で何が最も気になっているのかを聞きました。

最も多いのは「湿度の調節 (除湿、加湿)」(31.3%)で、3割強を占めています。次いで「温度の調節」(21.9%)、「換気」(21.0%)が多く、以下「部屋の臭いの除去」(10.5%)、「細菌やカビなどの除去」(7.9%)、「埃やチリなどの除去」(7.0%)が続いています。

- 性別にみると、「温度の調節」は<男性>(25.5%)では2割強を占めていますが、<女性>(18.3%)では2割弱にとどまり、「部屋の臭いの除去」(13.8%)が<男性>(7.3%)をわずかですが上回っています。
- 年代別にみると、「湿度の調節」は<30代>(37.0%)に特に多くなっています。一方、「換気」は<50代>(13.5%)が他の年代ほど多くありません。

2. 最も気になっていることに対して行なっている対策

【湿度の調節】【温度の調節】では「エアコン」(125件、108件)、【換気】では「窓を開ける」(110件)が圧倒的に多い。

表1. 最も気になっていることに対してとっている対策(上位3項目のみ)

湿度の調節	温度の調節	換気
エアコンで除湿する(125件)	エアコンで調整する(108件)	窓を開ける(110件)
窓を開ける(37件)	窓を開ける(35件)	換気扇を回す(11件)
除湿器で除湿する(30件)	扇風機をつける(15件)	扇風機を使う(10件)
除湿剤を使う(10件)		空気清浄機を使う(6件)
換気扇を使う(2件)		エアコンを使う(5件)

さらに、夏の部屋の空気で気になっていることに対してどのような対策をとっているのか具体的にあげてもらいました。上位3項目についてその内容を整理したものが表1です。

最も多かった【湿度の調節】では「エアコンで除湿する」(125件)が圧倒的に多く、以下「窓を開ける」(37件)、「除湿器で除湿する」(30件)、「除湿剤・除湿シートを使う」(10件)、「換気扇を使う」(2件)が続いています。

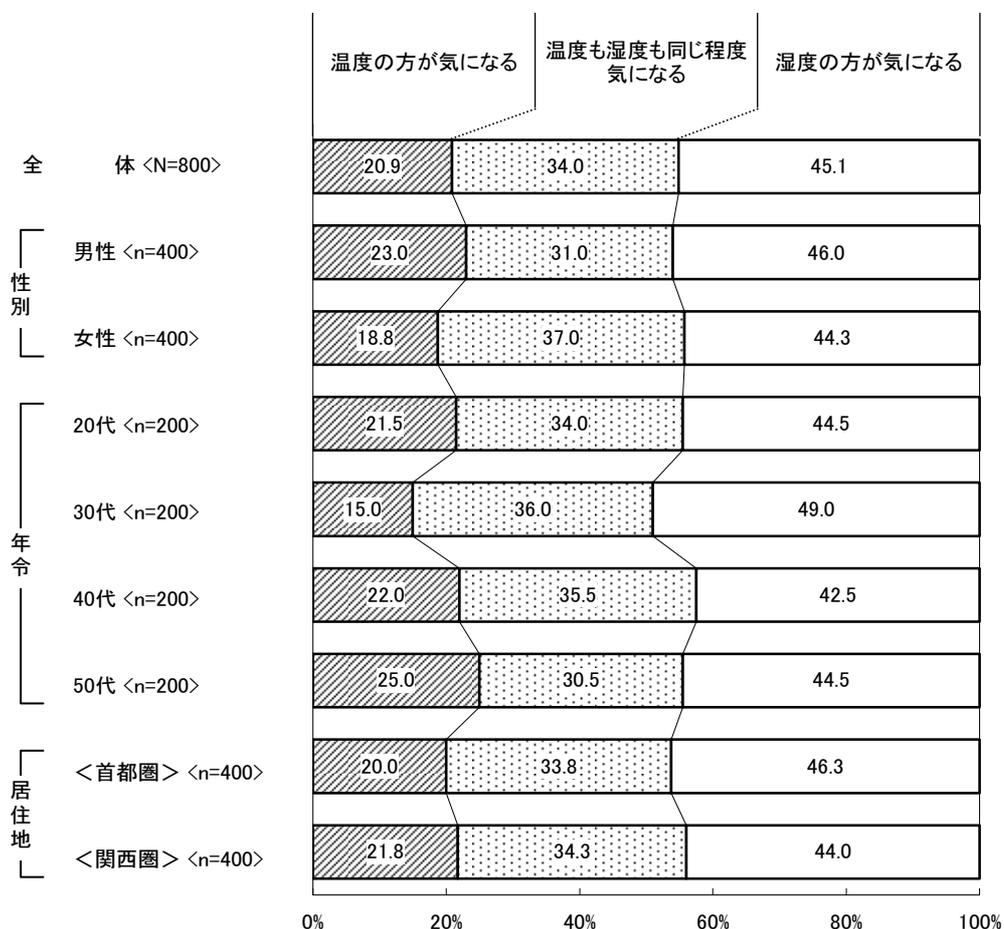
次いで多かった【温度の調節】でも「エアコンで調整する」(108件)が断然多く、次いで「窓を開ける」(35件)、「扇風機をつける」(15件)の順となっています。

また、【換気】では「窓を開ける」(110件)が圧倒的に多く、そのほかには「換気扇を回す」(11件)、「扇風機を使う」(10件)、「空気清浄機を使う」(6件)、「エアコンを使う」(5件)などがわずかずつあげられている程度です。

3. 夏の部屋の空気で気になるのは温度と湿度のどちら

「湿度の方が気になる」(45.1%)が半数弱を占め、次いで「同じ程度気になる」(34.0%)の順。「温度の方が気になる」(20.9%)は2割にとどまる。

図2. 夏の部屋の空気で温度と湿度のどちらの方がより気になるか



夏の部屋の空気では、温度と湿度のどちらがより気になるか聞きました。

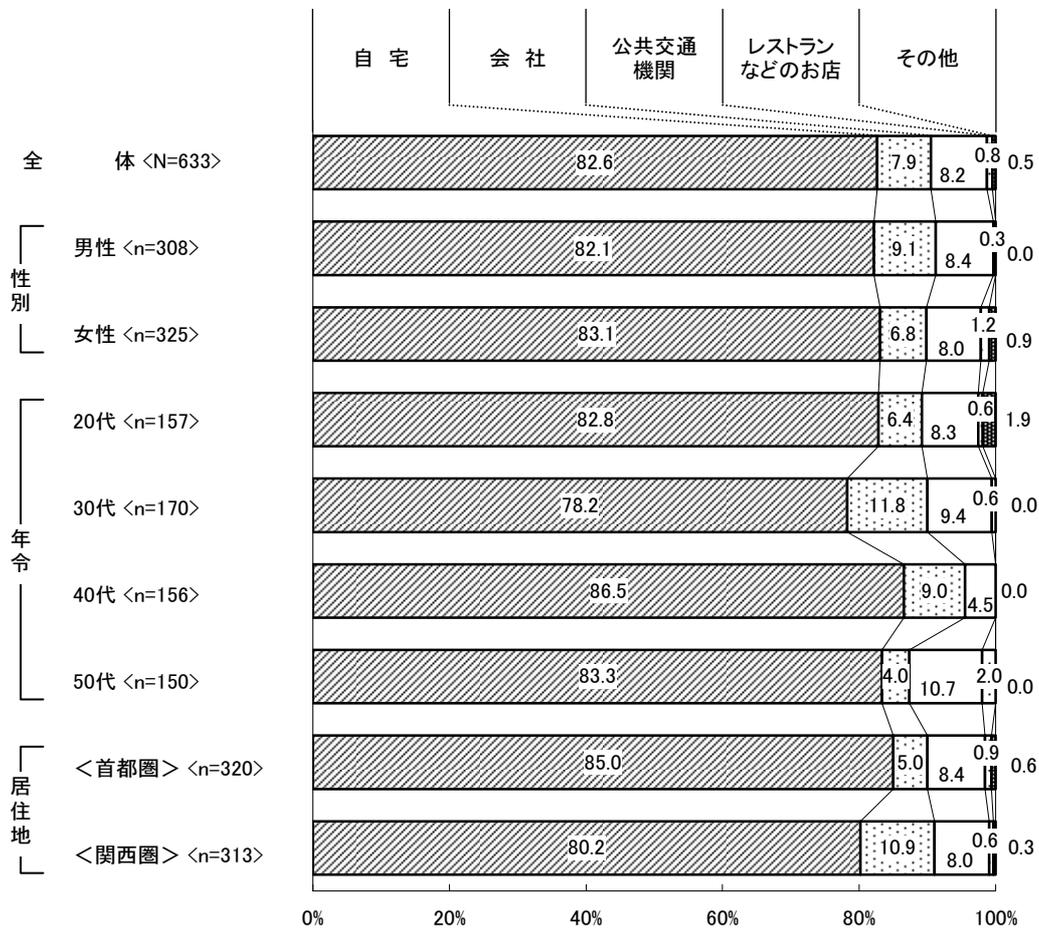
「湿度の方が気になる」(45.1%)が半数弱を占め最も多く、次いで「同じ程度気になる」(34.0%)の順となっており、「温度の方が気になる」(20.9%)は2割にとどまっています。

- いずれの属性でみても、「湿度の方が気になる」が4割強、「同じ程度気になる」が3割強、「温度の方が気になる」が2割前後となっており、この傾向に大きな違いは見られません。

4. 湿度が特に気になる部屋

「自宅」(82.6%)が圧倒的。以下、「公共交通機関」(8.2%)、「会社」(7.9%)が1割弱で続く。

図3. 湿度が特に気になるのはどこの部屋か(湿度が気になる、同程度気になるとの回答者のみ)



前問で、湿度の方が気になる、または温度も湿度も同じ程度気になると回答した人に、特に気になるのはどこの部屋の湿度なのかを聞きました。

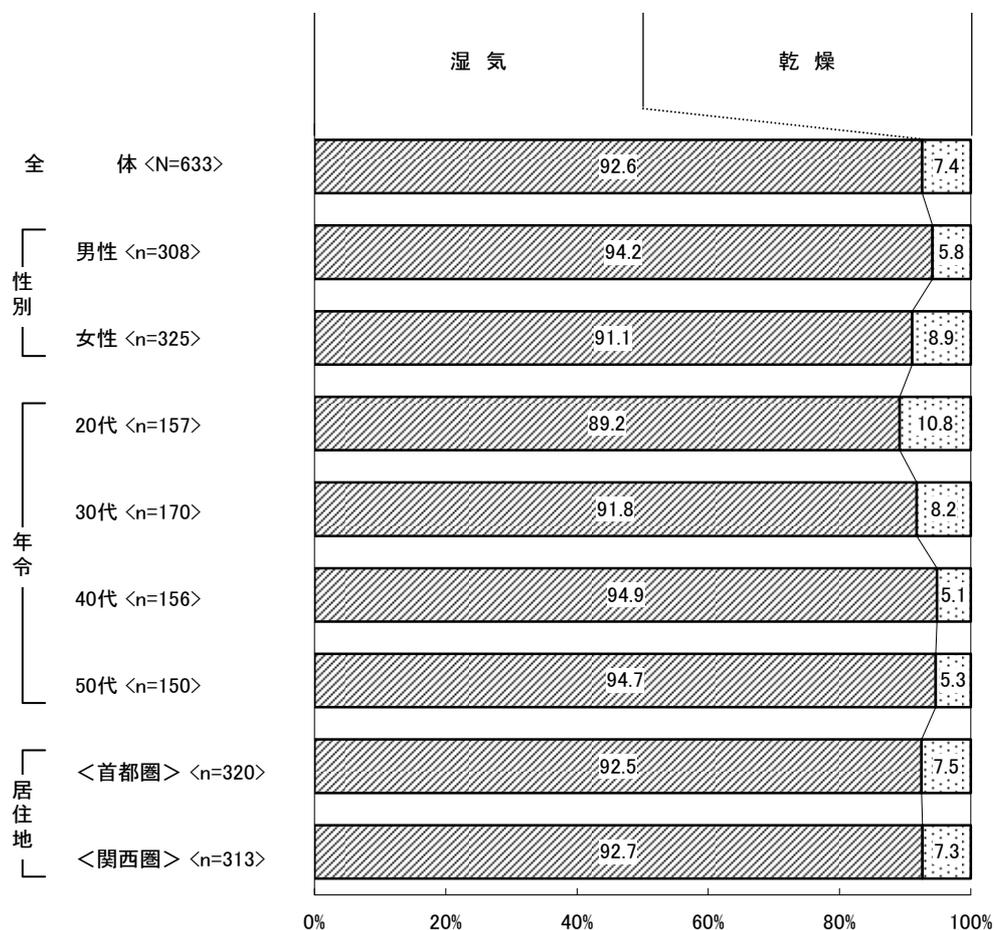
8割以上が「自宅」(82.6%)と回答しており圧倒的となっています。以下、「公共交通機関」(8.2%)、「会社」(7.9%)が1割弱で続いています。

- 属性別にみても大きな違いは見られません。

5. 湿度で気になるのは湿気と乾燥のどちら

「湿気」(92.6%)が圧倒的、「乾燥」(7.4%)はごくわずか。

図4. 湿度で気になるのは湿気と乾燥のどちらか(湿度が気になる、同程度気になるとの回答者のみ)



湿度で気になるのは湿気と乾燥のどちらなのかを聞きました。
圧倒的に「湿気」(92.6%)が多く、「乾燥」(7.4%)はごくわずかです。

- 属性別にみても大きな違いは見られません。

6. 湿度で気になる内容

【湿気】では「カビが生える」(110件)、「じめじめする」(97件)、「体がべたべたする」(56件)が多い。【乾燥】は「のどが痛くなる」(9件)、「肌がかさかさになる」(8件)など。

表2. 湿度で気になる内容

湿気	乾燥
カビが生える(110件)	のどが痛くなる(9)
じめじめする(97件)	肌がかさかさになる(8)
体がべたべたする(56件)	目が乾く(5)
蒸し暑い(50件)	病気になりやすい(4)
臭い(21件)	静電気が起きる(2)
床や家具などがべたべたする(21件)	花がしおれる(2)
汗ばむ(20件)	
むしむしする(19件)	
じとじとする(14件)	
結露ができる(9件)	
気持ちが悪い(8件)	
押し入れのなか湿気る(7件)	
布団が湿気る(6件)	
髪にウェーブが出る(3件)	

湿度が気になる、または同程度気になると回答した人に、湿度でどのようなことが気になるのか具体的にあげてもらいました。その内容を整理したものが表2です。

【湿気】では「カビが生える」(110件)が最も多くあげられており、「じめじめする」(97件)、「体がべたべたする」(56件)が続いています。また、「蒸し暑い」(50件)も多くあげられています。そのほか、「臭い(カビ臭い・湿気臭い)」(21件)、「汗ばむ」(20件)、「むしむしする」(19件)、「じとじとする」(14件)といった内容や、「床や家具などがべたべたする」(21件)、「結露ができる」(9件)といった生活上の不都合などがあげられています。

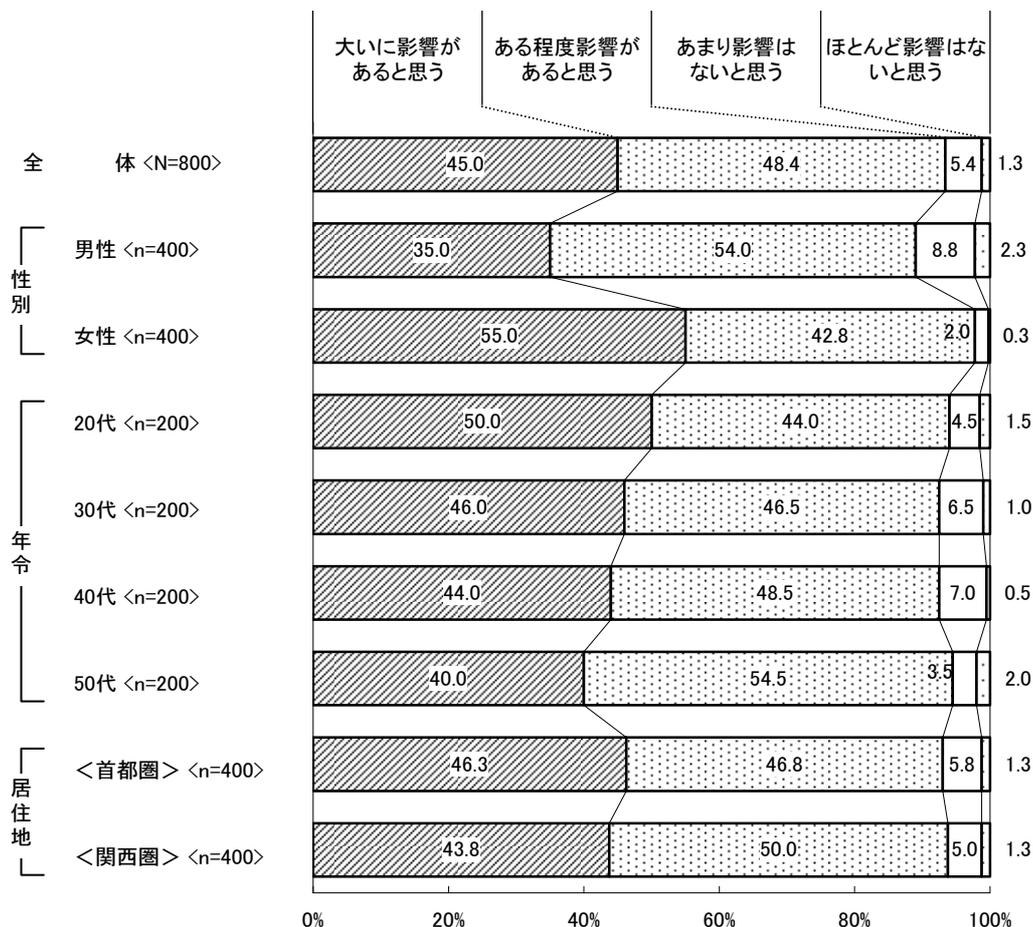
【乾燥】では「のどが痛くなる」(9件)、「肌がかさかさになる」(8件)、「目が乾く」(5件)、「病気になりやすい」(4件)といった体の変調などがあげられています。

7. 空気は肌に影響があると思うか

「大いに影響があると思う」(45.0%)、「ある程度影響があると思う」(48.4%) がともに4割強を占め、9割強は“影響があると思う”(93.4%) と回答。

◆「大いに影響があると思う」は<女性>(55.0%) に特に多い。

図5. 空気は肌に影響があると思うか



空気は肌に影響があると思うかを聞きました。

「大いに影響があると思う」(45.0%)、「ある程度影響があると思う」(48.4%) がともに4割を大きく超えており、両者をあわせた“影響があると思う”(93.4%) は9割強を占めています。「あまり影響はないと思う」(5.4%)、「ほとんど影響はないと思う」(1.3%) とともにごくわずかです。

- 性別にみると、<女性>は「大いに影響があると思う」(55.0%) が半数強を占めており、<男性>(35.0%) を大きく上回っています。
- 年代別にみると、若い人ほど「大いに影響があると思う」が多く、<20代>(50.0%) では半数を占めています。

表3. 性/年代別に見る、空気は肌に影響があると思うか

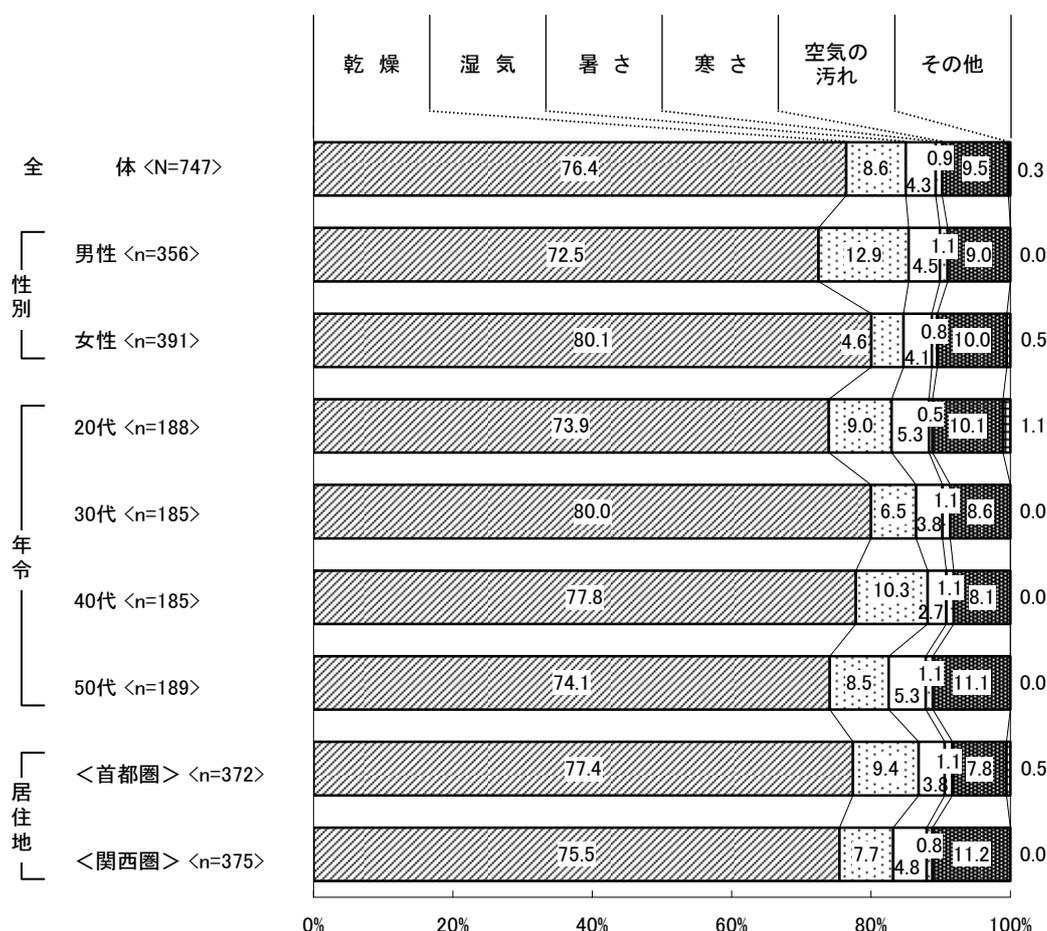
	サンプル数	大いに影響があると思う	ある程度影響があると思う	あまり影響はないと思う	ほとんど影響はないと思う	* 影響があると思う	* 影響がないと思う
男性・計	400	35.0	54.0	8.8	2.3	89.0	11.0
20代	100	34.0	54.0	9.0	3.0	88.0	12.0
30代	100	35.0	52.0	11.0	2.0	87.0	13.0
40代	100	35.0	53.0	11.0	1.0	88.0	12.0
50代	100	36.0	57.0	4.0	3.0	93.0	7.0
女性・計	400	55.0	42.8	2.0	0.3	97.8	2.3
20代	100	66.0	34.0	-	-	100.0	-
30代	100	57.0	41.0	2.0	-	98.0	2.0
40代	100	53.0	44.0	3.0	-	97.0	3.0
50代	100	44.0	52.0	3.0	1.0	96.0	4.0

- 性/年代別にみると、＜女性＞は若い人ほど「大いに影響があると思う」が多く、＜女性・20代＞（66.0%）では6割を大きく超えています。

8. 肌に影響すると思うもの

「乾燥」(76.4%)が圧倒的。そのほか「空気の汚れ」(9.5%)、「湿気」(8.6%)など。

図6. 何が肌に影響すると思うか(影響があると思うとの回答者のみ)



前項で空気は肌に影響すると思うと回答した人に、重ねて、何が最も肌に影響すると思うかを聞きました。

「乾燥」(76.4%)が圧倒的に多く、そのほかには「空気の汚れ」(9.5%)、「湿気」(8.6%)がやや目につく程度です。

- 属性別にみても大きな違いは見られません。

表4. 性/年代別に見る、何が肌に影響すると思うか

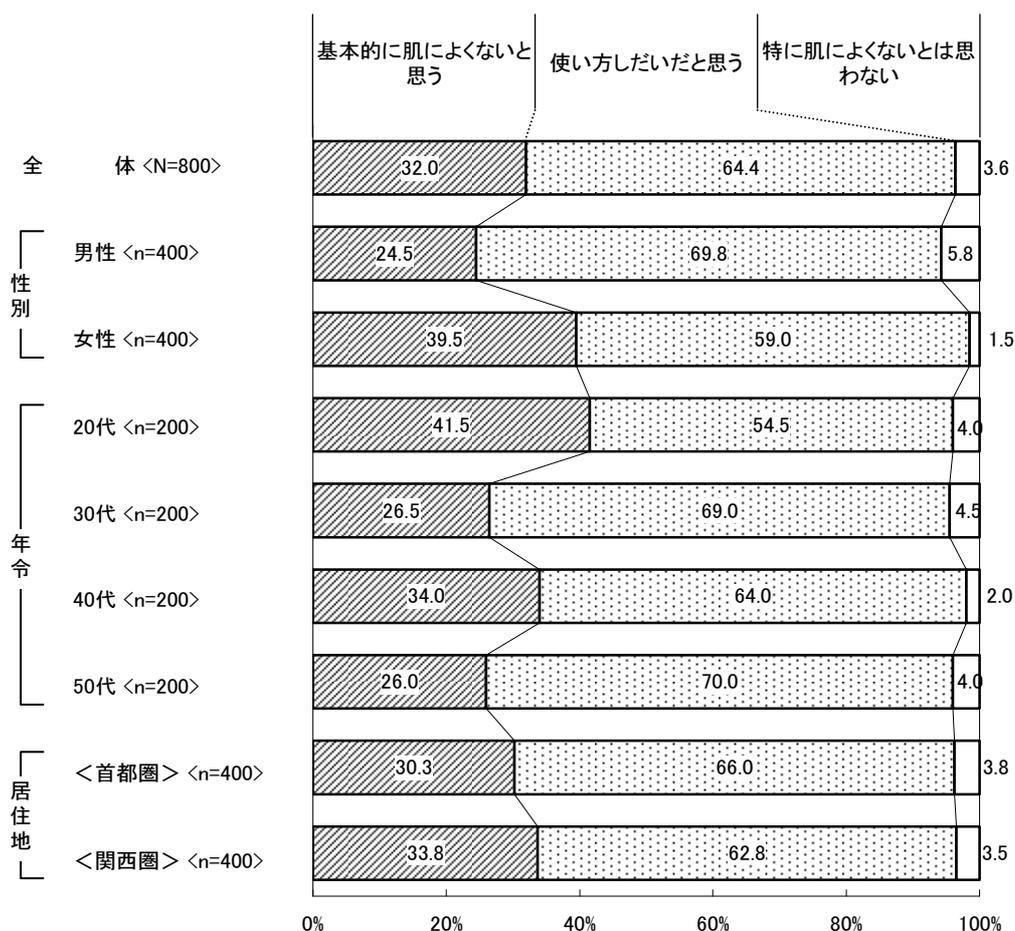
	サンプル数	乾燥	湿気	暑さ	寒さ	空気の汚れ	その他
男性・計	356	72.5	12.9	4.5	1.1	9.0	-
20代	88	72.7	13.6	4.5	-	9.1	-
30代	87	75.9	11.5	5.7	2.3	4.6	-
40代	88	71.6	13.6	3.4	2.3	9.1	-
50代	93	69.9	12.9	4.3	-	12.9	-
女性・計	391	80.1	4.6	4.1	0.8	10.0	0.5
20代	100	75.0	5.0	6.0	1.0	11.0	2.0
30代	98	83.7	2.0	2.0	-	12.2	-
40代	97	83.5	7.2	2.1	-	7.2	-
50代	96	78.1	4.2	6.3	2.1	9.4	-

9. エアコンは肌によくないと思うか

「使い方しだいだと思う」(64.4%)が6割強を占め、「基本的に肌によくないと思う」(32.0%)が3割強。「特に肌によくないとは思わない」(3.6%)はごくわずか。

◆「基本的に肌によくないと思う」は、<女性・20代>に特に多いが、<女性・50代>(28.0%)ではさほどではない。

図7. エアコンは肌によくないと思うか



エアコンは肌によくないと思うかを聞きました。

「使い方しだいだと思う」(64.4%)が6割強を占めており、「基本的に肌によくないと思う」(32.0%)が3割強となっています。「特に肌によくないとは思わない」(3.6%)はごくわずかです。

- 性別にみると、<女性>は「基本的に肌によくないと思う」(39.5%)がほぼ4割を占めており、<男性>(24.5%)を大きく上回っています。<男性>は「使い方しだいだと思う」(69.8%)がほぼ7割を占めとりわけ多くなっています。
- 年代別にみると、<20代>は「基本的に肌によくないと思う」(41.5%)が4割強を占め、他の年代を上回っています。

表5. 性/年代別に見る、エアコンは肌によくないと思うか

	サンプル数	基本的に肌によくないと思う	使い方をしだいたいと思う	特に肌によくない
男性・計	400	24.5	69.8	5.8
20代	100	31.0	62.0	7.0
30代	100	16.0	78.0	6.0
40代	100	27.0	69.0	4.0
50代	100	24.0	70.0	6.0
女性・計	400	39.5	59.0	1.5
20代	100	52.0	47.0	1.0
30代	100	37.0	60.0	3.0
40代	100	41.0	59.0	-
50代	100	28.0	70.0	2.0

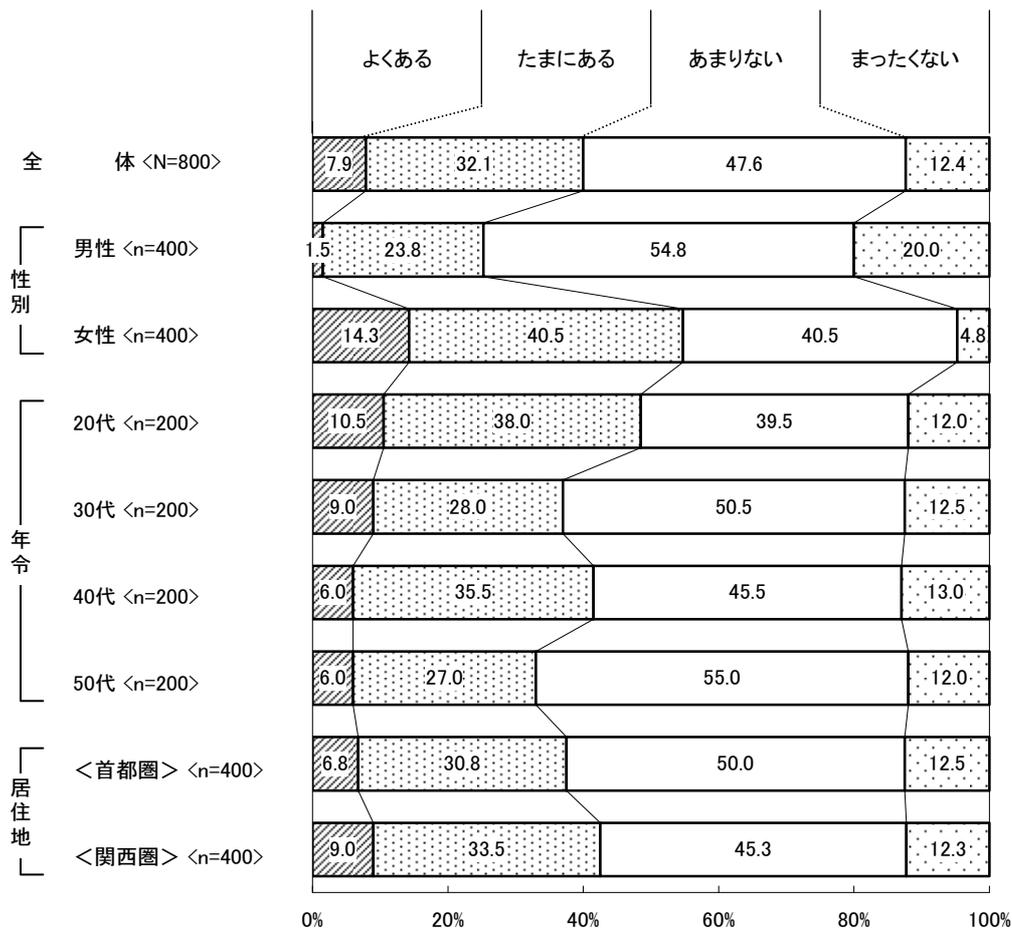
- 性/年代別にみると、＜女性・20代＞は「基本的に肌によくないと思う」（52.0%）が半数強を占めており他の層を大きく上回っています。一方、＜女性・50代＞や＜男性・50代＞＜男性・40代＞では「基本的に肌によくないと思う」（28.0%、24.0%、27.0%）は2割強にとどまっており、「使い方しだいたいと思う」（70.0%、70.0%、69.0%）が7割程度を占めています。女性同士であっても年代によって大きな差がみられます。

10. エアコンの効きすぎによる肌の乾燥が気になった経験の有無

「よくある」(7.9%)が1割弱、「たまにある」(32.1%)が3割強を占め、4割が“ある”(40.0%)と回答。

◆<女性>は「よくある」(14.3%)「たまにある」(40.5%)が<男性>(1.5%、23.8%)を大きく上回る。なかでも<女性・20代>は“ある”(67.0%)が6割強。

図8. 夏、エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になったことがあるか



夏の時期、エアコンの効きすぎによる肌の乾燥が気になったことがあるか聞きました。

「よくある」(7.9%)は1割弱にとどまりますが、「たまにある」(32.1%)が3割強を占めており、“ある”(40.0%)が4割を占めています。「あまりない」(47.6%)が半数弱、「まったくない」(12.4%)は1割強となっています。

- 性別にみると、<女性>は「よくある」(14.3%)が1割強、「たまにある」(40.5%)が4割と、“ある”(54.8%)が半数強を占めており、<男性>(1.5%、23.8%)を大きく上回っています。
- 年代別にみると、<20代>は「よくある」(10.5%)、「たまにある」(38.0%)ともに他の年代を大きく上回っています。

表6. 性/年代別に見る、夏エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になったことがあるか

	サンプル数	よくある	たまにある	あまりない	まったくくない	*ある	*ない
男性・計	400	1.5	23.8	54.8	20.0	25.3	74.8
20代	100	3.0	27.0	51.0	19.0	30.0	70.0
30代	100	1.0	16.0	61.0	22.0	17.0	83.0
40代	100	1.0	26.0	52.0	21.0	27.0	73.0
50代	100	1.0	26.0	55.0	18.0	27.0	73.0
女性・計	400	14.3	40.5	40.5	4.8	54.8	45.3
20代	100	18.0	49.0	28.0	5.0	67.0	33.0
30代	100	17.0	40.0	40.0	3.0	57.0	43.0
40代	100	11.0	45.0	39.0	5.0	56.0	44.0
50代	100	11.0	28.0	55.0	6.0	39.0	61.0

- 性/年代別にみると、＜女性・20代＞は“ある”（67.0%）が6割を超えています。

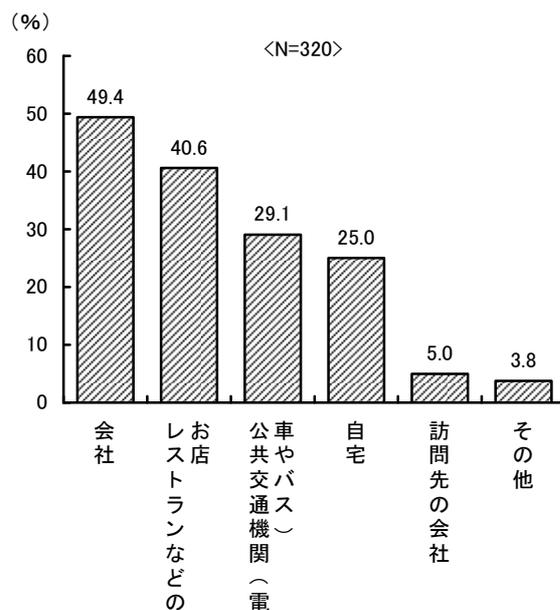
11. エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になる場所

「会社」(49.4%)が最も多く、次いで「レストランなどのお店」(40.6%)の順。「公共交通機関」(29.1%)、「自宅」(25.0%)も多い。

◆「会社」は<男性>(47.5%)、<女性>(50.2%)ともに多い。<女性>はそのほかに「レストランなどのお店」(47.5%)も多い。

図9. エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になる場所【複数回答】

(気になったことがあるとの回答者のみ)



性別	男性 <n=101>	47.5	25.7	21.8	34.7	5.0	3.0
	女性 <n=219>	50.2	47.5	32.4	20.5	5.0	4.1
年齢	20代 <n=97>	53.6	36.1	26.8	36.1	4.1	5.2
	30代 <n=74>	58.1	43.2	23.0	13.5	6.8	2.7
	40代 <n=83>	45.8	45.8	33.7	21.7	3.6	1.2
	50代 <n=66>	37.9	37.9	33.3	25.8	6.1	6.1
居住地	<首都圏> <n=150>	49.3	48.7	34.0	26.0	5.3	2.7
	<関西圏> <n=170>	49.4	33.5	24.7	24.1	4.7	4.7

エアコンの効きすぎによる肌の乾燥が気になったことがあると回答した人に、それはどこでのことだったのか、気になったことがある場所を聞きました。

半数弱が「会社」(49.4%)をあげており最も多くなっています。また、「レストランなどのお店」(40.6%)も4割と多く、そのほか「公共交通機関」(29.1%)、「自宅」(25.0%)も2割強と少なくありません。

- 性別にみると、「会社」は<男性>(47.5%)、<女性>(50.2%)ともに最も多く半数前後があげています。<女性>はそのほかに「レストランなどのお店」(47.5%)も多く、半数弱となっています。一方、<男性>は「自宅」(34.7%)が<女性>(20.5%)を大きく上回っており、“自宅では夫が我慢している”様子がうかがわれます。
- 年代別にみると、<30代><20代>は「会社」(58.1%、53.6%)が<50代>(37.9%)、

<40代> (45.8%) を大きく上回っています。

- 地域別に見ると、<首都圏>では「レストランなどのお店」(48.7%) が<関西圏> (33.5%) を大きく上回っています。<首都圏>の人は<関西圏>の人に比べて不快であっても“我慢してしまう”ということでしょうか。

表7. 性/年代別に見る、エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になる場所

	サンプル数	自宅	会社	訪問先の会社	公共や交通機関(電車バス)	レストランなどのお店	その他
男性・計	101	34.7	47.5	5.0	21.8	25.7	3.0
20代	30	63.3	36.7	3.3	13.3	20.0	-
30代	17	11.8	47.1	11.8	35.3	35.3	-
40代	27	14.8	59.3	-	18.5	25.9	3.7
50代	27	37.0	48.1	7.4	25.9	25.9	7.4
女性・計	219	20.5	50.2	5.0	32.4	47.5	4.1
20代	67	23.9	61.2	4.5	32.8	43.3	7.5
30代	57	14.0	61.4	5.3	19.3	45.6	3.5
40代	56	25.0	39.3	5.4	41.1	55.4	-
50代	39	17.9	30.8	5.1	38.5	46.2	5.1

- 性/年代別にみると、<女性・30代><女性・20代>は「会社」(61.4%、61.2%) がとりわけ多く、いずれも6割強があげています。なお、<女性・40代><女性・50代>は「公共交通機関」(41.1%、38.5%) がトップ項目となっています。一方、<男性・20代>は「自宅」(63.3%) が6割強と他の層を大きく上回っています。

12. エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になった内容

「かさかさになる」(52件)が最も多い。そのほか、「つっぱる」(20件)、「かゆくなる」(16件)、「唇がかさかさになる」(10件)、「肌が荒れる」(8件)、「目が乾く」(8件)、「のどが痛くなる」(6件)など“体の不調”に関わる内容が非常に多い。

表8. エアコンの効きすぎで肌の乾燥が気になった内容(気になったことがあるとの回答者のみ)

かさかさになる(52件)
つっぱる(20件)
保湿用にミスト、ローションなどをいつも使っている(17件)
かゆくなる(16件)
しわが目立つ(12件)
メイクが崩れる(11件)
唇がかさかさになる(10件)
肌が荒れる(8件)
目が乾く(8件)
のどが痛くなる(6件)
保湿用のクリームや化粧水を持ち歩いている(6件)
粉を吹いたようになる(5件)
のどが渇く(4件)
飛行機に乗っていると乾燥して困る(4件)
化粧ののりが悪い(3件)
口の周りがかさかさになる(2件)
肌が乾燥すると脂っぽくなるどころと両方出る(2件)
髪が乾燥する(2件)

エアコンの効きすぎにより肌の乾燥が気になったことがあると回答した人に、乾燥が気になったときのことで今も印象に残っていることがあれば自由にあげてもらいました。

最も多いのは「かさかさになる」(52件)で、そのほか「つっぱる」(20件)、「かゆくなる」(16件)、「唇がかさかさになる」(10件)、「肌が荒れる」(8件)、「目が乾く」(8件)、「のどが痛くなる」(6件)など“体の不調”に関わる内容が非常に多くあげられています。

そのほか、「保湿用にミスト、ローションをいつも使っている」(17件)、「保湿用のクリームや化粧水を持ち歩いている」(6件)といった内容もあげられています。

具体的回答のなかから代表的なものを以下に掲出しました。

- かさかさになる(52件)
 - ・レストランで食事している時にエアコンが効きすぎて肌がカサカサになって困りました
 - ・飲んで帰ってきたら肌がかさついていたので、保湿パックをした
 - ・目の周りがかさかさになる
 - ・友人と外出先で長時間楽しんでいたが、化粧を直そうと思い手鏡を見てビックリ！ 笑いじわに

ファンデーションがクッキリ入り込み、線が入ったまま。。頬はカサカサで、お手上げ～ 恥ずかしかった

●つっぱる (20件)

- ・会社で顔がバリバリになり化粧直しをするとファンデーションがのらず、さらに崩れる。レストランや公共機関でも同じです…
- ・エアコンで肌が突っ張って浮腫んだようになる
- ・レストランや電車の中に長時間いるときなどに肌のつっぱりを感じたことがある

●保湿用にミスト、ローションなどをいつも使っている (17件)

- ・会社のエアコンが効きすぎているので、一日に何度も顔に化粧水を入れたスプレーをしている。自宅に帰っても、保湿パック等をしている
- ・コンピューターのマウスを使っていると手が乾燥してくるので、マウスのそばに保湿クリームをおいている。
- ・会社でエアコンの効き過ぎはたちまち影響し、肌が乾燥してパリパリになるため保湿クリームを購入してケアしている
- ・会社はエアコンの温度を低くするので、自衛策としてトイレに化粧水のスプレーを置いてトイレに行くたびにシュッとかけている
- ・肌がつっぱってきたらメイクの上からできるスプレーの化粧水をする

●かゆくなる (16件)

- ・食事に行くと乾燥するので体温の上昇と共に体がかゆくなる
- ・乾燥のせいか肌がとてもかゆくなる。早く自宅に帰宅し洗顔したくなる
- ・汗をかいた後に乾燥したから全身がかゆくなった

●しわが目立つ (12件)

- ・年を重ねるごとに、目の周り、口元などに乾燥によるしわが目立ち、顔がこわばってきます
- ・寝室でもかけているので、目の周りなどに乾燥じわができてします。
- ・翌日肌が老化しているようなたるみを感じられる
- ・エアコンの効きすぎの会社で、笑っていると笑いシワの跡がなかなか消えない気がする。
- ・夕方になると目の下のしわがくっきりする。たぶん乾燥のせいだと思う。

●メイクが崩れる (11件)

- ・レストランなどの飲食店の冷房で、長時間居る時はメイクがパリパリになって崩れる
- ・映画館はいつも冷房ガンガン。化粧がすぐ崩れる
- ・会社の冷房で肌が乾燥して、メイクが油浮きしてしまう

●唇がかさかさになる (10件)

- ・会社のエアコンが効き過ぎていて、唇と口の周りがカサカサになった
- ・自宅ですっぴんでいるときにエアコンの効いた部屋に長時間いると、唇の乾燥が気になってきたりします。冬でも夏でもリップクリームを手放せません
- ・唇がかさかさするので、リップクリームを何回も塗りなおしてしまう

●肌が荒れる (8件)

- ・会社のエアコンの効きすぎで顔の口まわりが乾燥して、肌荒れを起こす事がしばしばある
- ・主婦性湿疹の肌がぼろぼろになったとき
- ・手先の乾燥によるささくれ

●目が乾く (8件)

- ・会社のエアコンは風が直接当たる位置にあるので、コンタクトが乾いて目がしょぼしょぼするので目薬がかかせない
- ・冷房の効きすぎている飲食店で目が異常に乾くときがある
- ・コンタクトレンズの乾きが冬の暖房より夏のエアコンで痛いです

●のどが痛くなる (6件)

- ・エアコンを効かせたまま就寝すると起きたときにのどが渇いていて痛い
- ・車の中は、乾燥しやすくノドが痛くなるので、タオルを濡らして置いている。

●保湿用のクリームや化粧水を持ち歩いている (6件)

- ・化粧水パックを持ち歩くようになりました

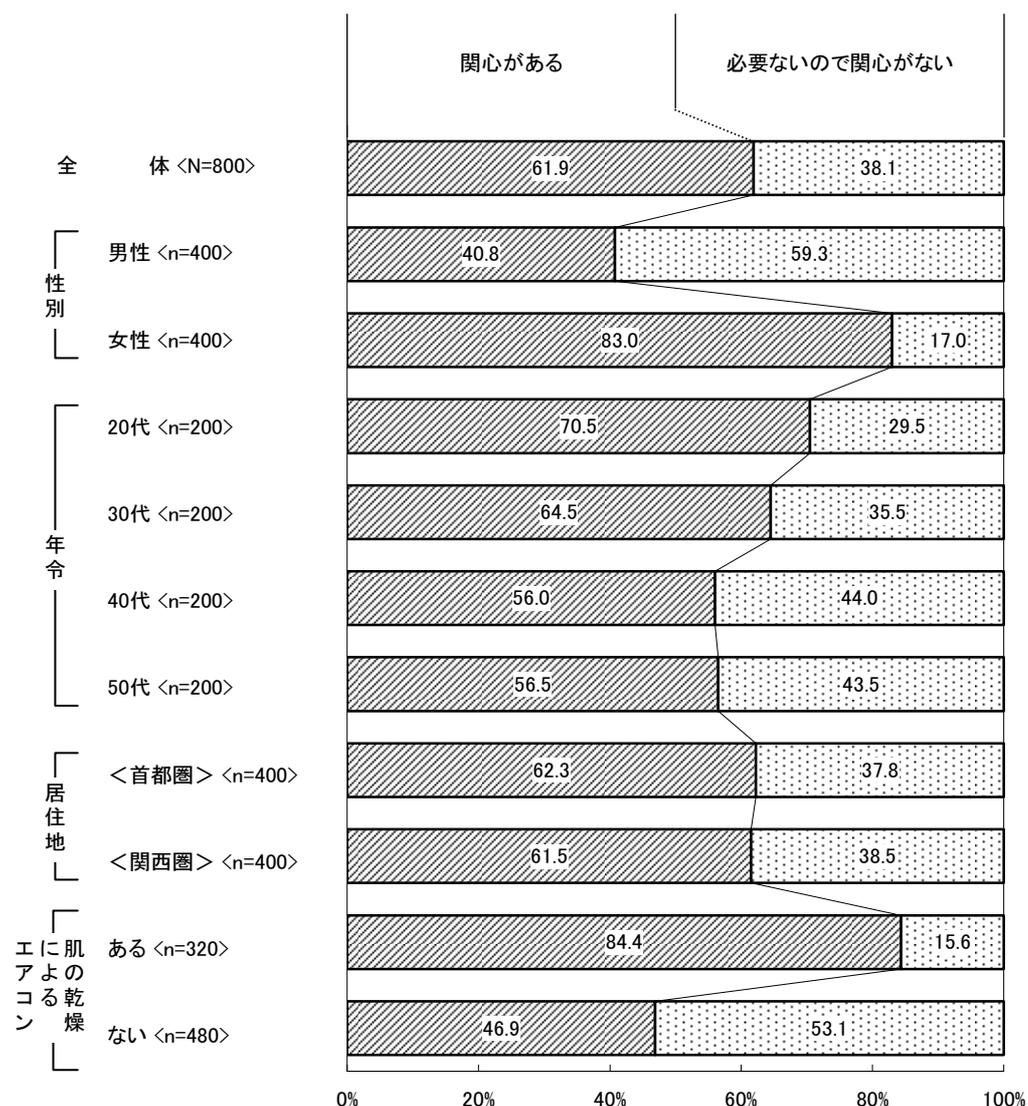
- ・夏でも冬と同じ化粧品を使っている
- 粉を吹いたようになる (5件)
 - ・夏でも顔が乾燥して粉をふいたようになり、メイクがくずれやすい。
 - ・職場のエアコンが効きすぎて、夏なのに肌が乾燥して粉吹いたとき。
- のどが渇く (4件)
 - ・やたら喉が渇くのでお茶を携帯している
- 飛行機に乗っていると乾燥して困る (4件)
 - ・飛行機に乗って長い時間旅をしていると必ず皮膚がぴかぴかになってしまいます。乾燥しすぎて髪の毛まで静電気でひっかかってしまいます
- 化粧ののりが悪い (3件)
 - ・一日中事務所にいると、夜や翌日化粧水の浸透が悪い気がする
- 口の周りがかさかさになる (2件)
 - ・口の辺りがヒリヒリしてくる
- 肌が乾燥すると脂っぽくなるどころと両方出る (2件)
 - ・肌が乾燥してしまうところと、脂っぽくなるどころと、両方・・・
- 髪が乾燥する (2件)
 - ・頭皮が乾燥するのか、フケが出やすい
- その他
 - ・金属のドアノブで静電気がビリリっ！顔の皮脂が過剰分泌・・・

13. 肌の乾燥対策に対する関心度

「関心がある」(61.9%)が6割強を占め、「必要ないので関心がない」(38.1%)は4割弱。

◆<女性>は「関心がある」(83.0%)が8割強を占める。なかでも<女性・20代>(90.0%)はとりわけ多い。

図10. 肌の乾燥対策に関心があるか



肌の乾燥対策に関心があるかを聞きました。

「関心がある」(61.9%)が6割強を占めており、「必要ないので関心がない」(38.1%)は4割弱にとどまっています。

- 性別にみると、<男性>では「関心がある」(40.8%)は4割にとどまっていますが、<女性>(83.0%)では8割強を占めており、圧倒的に多くの方が関心を持っている様子を示しています。

- 年代別にみると、若い人ほど「関心がある」が多く、＜20代＞（70.5%）では7割を占めていますが、＜30代＞（64.5%）では6割強、＜40代＞（56.0%）、＜50代＞（56.5%）では5割強となっています。
- 前に検証したエアコンによる肌の乾燥が気になった経験の有無別に見ると、＜ある＞という人では「関心がある」（84.4%）が8割を超え大多数を占めていますが、＜ない＞（46.9%）という人では半数弱にとどまっています。

表9. 性/年代別に見る、肌の乾燥対策に関心があるか

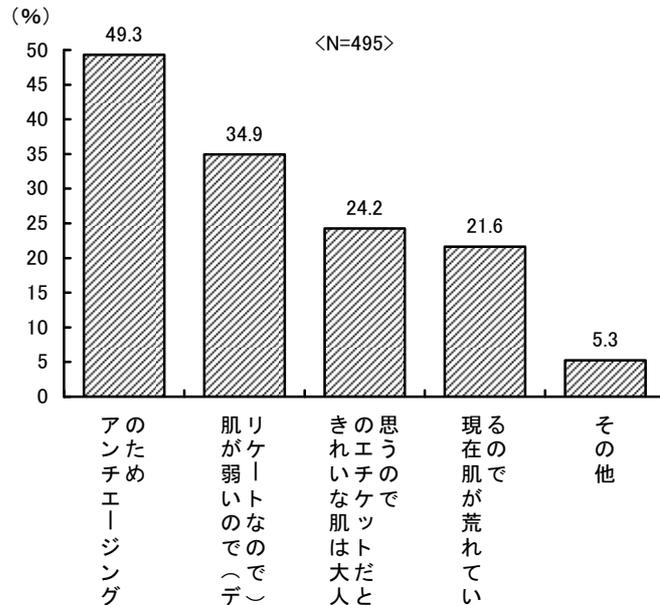
	サンプル数	関心がある	必要がないので関心
男性・計	400	40.8	59.3
20代	100	51.0	49.0
30代	100	44.0	56.0
40代	100	30.0	70.0
50代	100	38.0	62.0
女性・計	400	83.0	17.0
20代	100	90.0	10.0
30代	100	85.0	15.0
40代	100	82.0	18.0
50代	100	75.0	25.0

- 性/年代別にみると、男女ともほぼ若い人ほど「関心がある」が多く、＜女性・20代＞（90.0%）では9割を占めとりわけ多くなっています。

14. 肌の乾燥対策に関心を持つ理由

「アンチエイジングのため」(49.3%)が最も多く、「肌が弱いので」(34.9%)、「きれいな肌は大人のエチケット」(24.2%)、「現在肌が荒れているので」(21.6%)が続く。
 ◆「アンチエイジングのため」は<女性>で“年齢の高い人”に特に多い。

図11. 肌の乾燥対策に関心を持つ理由【複数回答】(関心があるとの回答者のみ)



性別	男性 <n=163>	30.1	41.7	22.7	21.5	7.4
	女性 <n=332>	58.7	31.6	25.0	21.7	4.2
年齢	20代 <n=141>	35.5	37.6	36.2	34.0	2.8
	30代 <n=129>	47.3	33.3	24.8	24.0	3.9
	40代 <n=112>	57.1	36.6	19.6	17.9	7.1
	50代 <n=113>	61.1	31.9	13.3	7.1	8.0
居住地	<首都圏> <n=249>	49.4	35.3	22.9	20.5	6.4
	<関西圏> <n=246>	49.2	34.6	25.6	22.8	4.1

肌の乾燥対策に関心があると回答した人に、どうして関心を持っているのかその理由を聞きました。

ほぼ半数が「アンチエイジングのため」(49.3%)をあげており、最も多くなっています。次いで「肌が弱いので」(34.9%)が多く、以下「きれいな肌は大人のエチケットだと思うので」(24.2%)、「現在肌が荒れているので」(21.6%)の順となっています。

- 性別にみると、<女性>は「アンチエイジングのため」(58.7%)が特に多いのに対して、<男性>は「肌が弱いので」(41.7%)がトップとなっています。
- 年代別にみると、「アンチエイジングのため」は年齢が高い人ほど多くなっていますが、「きれいな肌は大人のエチケットだと思うので」「現在肌が荒れているので」は若い人が多くあげています。

表10. 性/年代別に見る、肌の乾燥対策に関心を持つ理由

	サンプル数	アンチエイジングのため	肌が弱いため（デリケートな）	現在肌が荒れている	チケツトだと思ふので	その他
男性・計	163	30.1	41.7	21.5	22.7	7.4
20代	51	23.5	37.3	31.4	31.4	-
30代	44	34.1	43.2	20.5	25.0	6.8
40代	30	23.3	60.0	23.3	16.7	10.0
50代	38	39.5	31.6	7.9	13.2	15.8
女性・計	332	58.7	31.6	21.7	25.0	4.2
20代	90	42.2	37.8	35.6	38.9	4.4
30代	85	54.1	28.2	25.9	24.7	2.4
40代	82	69.5	28.0	15.9	20.7	6.1
50代	75	72.0	32.0	6.7	13.3	4.0

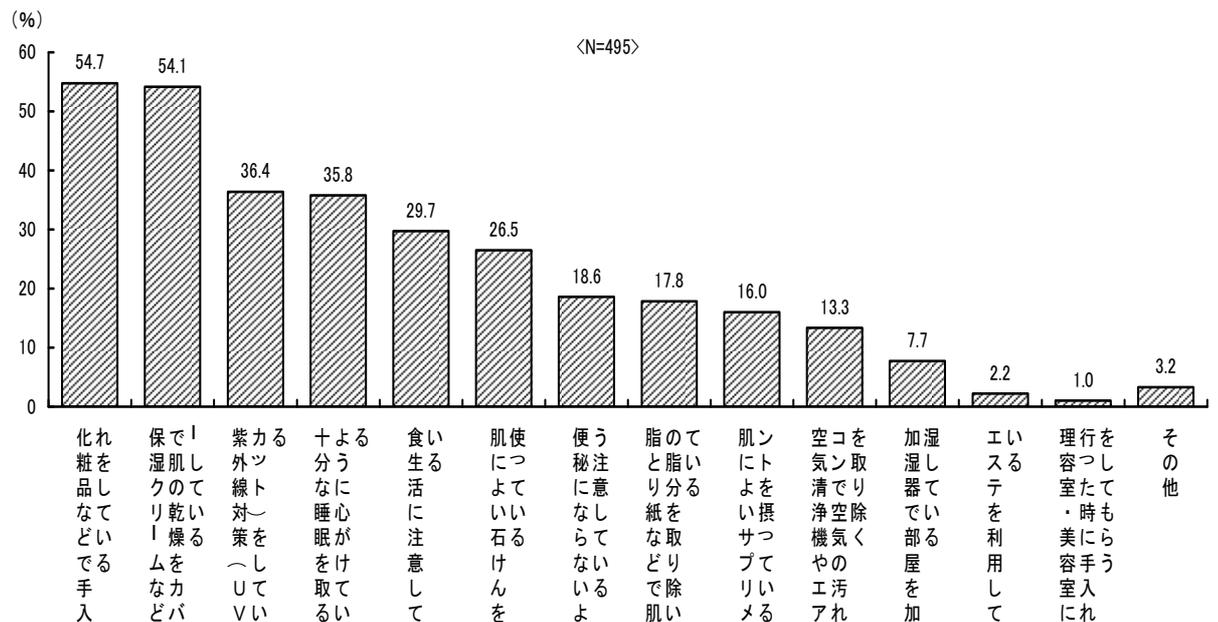
- 性/年代別にみると、＜女性＞は年齢の高い人ほど「アンチエイジングのため」が多く、＜女性・50代＞（72.0%）では7割を超えています。

15. 行っている肌の乾燥対策

「化粧品などで手入れをしている」(54.7%)と「保湿クリームなどで肌の乾燥をカバーしている」(54.1%)は半数以上があげられる。以下「紫外線対策をしている」(36.4%)、「十分な睡眠を取るよう心がけている」(35.8%)などが続く。

- ◆「化粧品などで手入れをしている」「保湿クリームなどで肌の乾燥をカバーしている」「紫外線対策をしている」は<女性>(72.9%、62.7%、49.7%)だけにきわめて多く、“女性ならではの”の対策。

図12. どんな肌の乾燥対策を行っているか【複数回答】(関心があるとの回答者のみ)



性別	男性 <n=163>	17.8	36.8	9.2	34.4	27.6	21.5	8.6	14.7	8.6	15.3	8.0	-	1.8	8.0
	女性 <n=332>	72.9	62.7	49.7	36.4	30.7	28.9	23.5	19.3	19.6	12.3	7.5	3.3	0.6	0.9
年齢	20代 <n=141>	57.4	53.9	34.0	33.3	31.9	24.8	16.3	24.8	15.6	11.3	5.0	1.4	1.4	2.8
	30代 <n=129>	55.0	49.6	40.3	38.0	25.6	21.7	14.7	17.8	11.6	9.3	12.4	1.6	1.6	3.1
	40代 <n=112>	53.6	53.6	34.8	29.5	27.7	24.1	22.3	17.0	19.6	16.1	7.1	3.6	0.9	5.4
	50代 <n=113>	52.2	60.2	36.3	42.5	33.6	36.3	22.1	9.7	17.7	17.7	6.2	2.7	-	1.8
居住地	<首都圏> <n=249>	51.4	53.0	34.5	38.2	31.7	28.5	19.3	14.9	18.9	14.9	7.2	3.6	0.8	3.6
	<関西圏> <n=246>	58.1	55.3	38.2	33.3	27.6	24.4	17.9	20.7	13.0	11.8	8.1	0.8	1.2	2.8

肌の乾燥対策に関心があると回答した人に、現在どのような肌の乾燥対策を行っているのかを聞きました。

「化粧品などで手入れをしている」(54.7%)と「保湿クリームなどで肌の乾燥をカバーしている」(54.1%)は半数以上があげており、トップ項目となっています。次いで多いのは「紫外線対策をしている」(36.4%)と「十分な睡眠を取るよう心がけている」(35.8%)で、3割以上があげています。以下、「食生活に注意している」(29.7%)、「肌によい石けんを使っている」(26.5%)などが続いています。

- 性別にみると、「化粧品などで手入れをしている」は<男性>(17.8%)ではわずか1割強にすぎませんが、<女性>(72.9%)では7割を超え断然多くを占めています。

また、「保湿クリームなどで肌の乾燥をカバーしている」「紫外線対策をしている」も
 <女性> (62.7%、49.7%) にきわめて多く、“女性ならではの”の対策となっています。

- 年代別にみても顕著な違いはありませんが、「脂とり紙などで肌の脂分を取り除いている」は若い人ほど多く、<20代> (24.8%) では2割を超えています。

表11. 性/年代別に見る、どんな肌の乾燥対策を行っているか

	サンプル数	化粧品などで手入れをしている	肌によい石けんを使っている	保湿クリームなどで肌の乾燥をカバーしている	脂とり紙などで肌の脂分を取り除いている	紫外線対策(UVカット)をしている	エステを利用している	理容室・美容室に行ったり時に手入れをもらった	肌につけるサプリメント	食生活に注意している	十分な睡眠を取るよう心がけている	便秘にならないよう注意している	空気清浄機やエアコンで空気の汚れを取り除く	加湿器で部屋を加湿している	その他
男性・計	163	17.8	21.5	36.8	14.7	9.2	-	1.8	8.6	27.6	34.4	8.6	15.3	8.0	8.0
20代	51	25.5	11.8	39.2	21.6	7.8	-	2.0	3.9	29.4	25.5	3.9	11.8	5.9	5.9
30代	44	20.5	22.7	36.4	15.9	9.1	-	2.3	13.6	34.1	40.9	9.1	9.1	9.1	4.5
40代	30	16.7	20.0	26.7	3.3	10.0	-	3.3	10.0	16.7	20.0	13.3	16.7	10.0	20.0
50代	38	5.3	34.2	42.1	13.2	10.5	-	-	7.9	26.3	50.0	10.5	26.3	7.9	5.3
女性・計	332	72.9	28.9	62.7	19.3	49.7	3.3	0.6	19.6	30.7	36.4	23.5	12.3	7.5	0.9
20代	90	75.6	32.2	62.2	26.7	48.9	2.2	1.1	22.2	33.3	37.8	23.3	11.1	4.4	1.1
30代	85	72.9	21.2	56.5	18.8	56.5	2.4	1.2	10.6	21.2	36.5	17.6	9.4	14.1	2.4
40代	82	67.1	25.6	63.4	22.0	43.9	4.9	-	23.2	31.7	32.9	25.6	15.9	6.1	-
50代	75	76.0	37.3	69.3	8.0	49.3	4.0	-	22.7	37.3	38.7	28.0	13.3	5.3	-

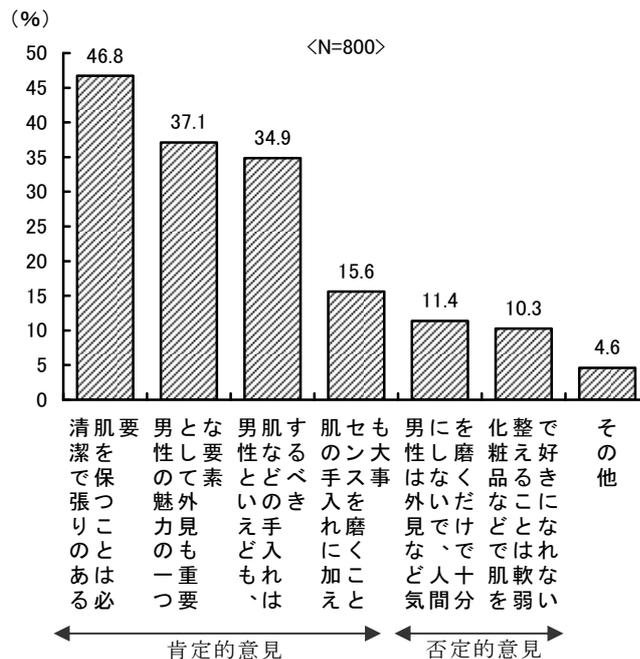
- 性/年代別にみると、「化粧品などで手入れをしている」「保湿クリームなどで肌の乾燥をカバーしている」「食生活に注意している」「肌によい石けんを使っている」など多くの項目は<女性・50代>が最も多く、次いで<女性・20代>が多くなっています。肌の乾燥対策は<女性・50代>が最も気を配り、次いで<女性・20代>が気を配っているということのようです。

16. 化粧品等で肌を整える男性が増えていることに対する思い

「清潔で張りのある肌を保つことは必要」(46.8%)、「男性の魅力の一つとして肌を整えるなど外見も重要な要素」(37.1%)、「男性といえども、肌、髪、眉などの手入れはするべき」(34.9%)が上位を占めるなど、大半が化粧品などで肌を整える男性が増えていることに好意的。

◆ポジティブに捉えている人は<男性>(73.8%)より<女性>(84.0%)の方が多い。
ネガティブな捉え方は<男性・50代>(29.0%)、<男性・40代>(27.0%)に多い。

図13. 化粧品等で肌を整える男性が増えていることをどう思うか【複数回答】



性別	肯定的意見								否定的意見							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
男性 <n=400>	40.5	32.5	33.5	12.8	12.3	12.0	7.0									
女性 <n=400>	53.0	41.8	36.3	18.5	10.5	8.5	2.3									
年齢	20代 <n=200>	56.0	47.5	49.0	28.0	4.5	3.0									
	30代 <n=200>	49.5	35.0	31.0	11.5	11.0	8.0	5.0								
	40代 <n=200>	41.0	32.0	29.5	10.5	15.0	13.5	4.5								
	50代 <n=200>	40.5	34.0	30.0	12.5	15.0	11.5	6.0								
居住地	<首都圏> <n=400>	45.5	37.0	33.3	17.5	12.0	11.3	4.8								
	男性 <n=200>	37.5	31.0	30.0	14.5	14.0	14.0	8.0								
	女性 <n=200>	53.5	43.0	36.5	20.5	10.0	8.5	1.5								
	<関西圏> <n=400>	48.0	37.3	36.5	13.8	10.8	9.3	4.5								
	男性 <n=200>	43.5	34.0	37.0	11.0	10.5	10.0	6.0								
	女性 <n=200>	52.5	40.5	36.0	16.5	11.0	8.5	3.0								

近年化粧品などで肌を整える男性が増えています、そのことをどう思っているかについて聞きました。

「清潔で張りのある肌を保つことは必要」(46.8%)、「男性の魅力の一つとして肌を整えるなど外見も重要な要素」(37.1%)、「男性といえども、肌、髪、眉などの手入れはするべき」(34.9%)が上位を占めるなど、化粧品などで肌を整える男性が増えていることをポジティブに捉えている人が大半を占めています。

一方、「男性は外見など気にしないで、人間を磨くだけで十分」(11.4%)、「男性が化粧品などで肌を整えることは軟弱で好きになれない」(10.3%)はそれぞれ1割強であり、男性が化粧品などで肌を整えることをネガティブに捉えている人(18.8%)は2割弱にとどまっています。

- 性別にみると、「清潔で張りのある肌を保つことは必要」「男性の魅力の一つとして肌を整えるなど外見も重要な要素」などポジティブな項目のすべてにおいて<女性>が<男性>を上回っており、ポジティブに捉えている人の割合(84.0%)は<男性>(73.8%)を上回っています。
- 年代別にみると、若い人ほどポジティブな項目の割合が高く、なかでも<20代>はポジティブな項目すべてにおいて“30代以上”を大きく上回っています。

表12. 性/年代別に見る、化粧品等で肌を整える男性が増えていることをどう思うか

	サンプル数	清潔で張りのある肌を保つことは必要	男性の魅力の一つとして外見も重要な要素	男性の手入れはするべき、肌などの	肌磨く手入れにも大事	男性は人間を磨くだけに十分	化粧品などで肌を整えることは軟弱で好きになれない	その他	*肯定的意見	*否定的意見
男性・計	400	40.5	32.5	33.5	12.8	12.3	12.0	7.0	73.8	21.3
20代	100	53.0	42.0	50.0	22.0	4.0	8.0	2.0	89.0	11.0
30代	100	45.0	33.0	30.0	11.0	12.0	8.0	8.0	76.0	18.0
40代	100	34.0	23.0	27.0	11.0	16.0	16.0	9.0	66.0	27.0
50代	100	30.0	32.0	27.0	7.0	17.0	16.0	9.0	64.0	29.0
女性・計	400	53.0	41.8	36.3	18.5	10.5	8.5	2.3	84.0	16.3
20代	100	59.0	53.0	48.0	34.0	5.0	8.0	4.0	85.0	11.0
30代	100	54.0	37.0	32.0	12.0	10.0	8.0	2.0	85.0	15.0
40代	100	48.0	41.0	32.0	10.0	14.0	11.0	-	82.0	21.0
50代	100	51.0	36.0	33.0	18.0	13.0	7.0	3.0	84.0	18.0

- 性/年代別にみると、男性が化粧品を使うことをネガティブに捉えている人は<女性>よりもむしろ<男性>の<50代>(29.0%)、<40代>(27.0%)に多くみられます。

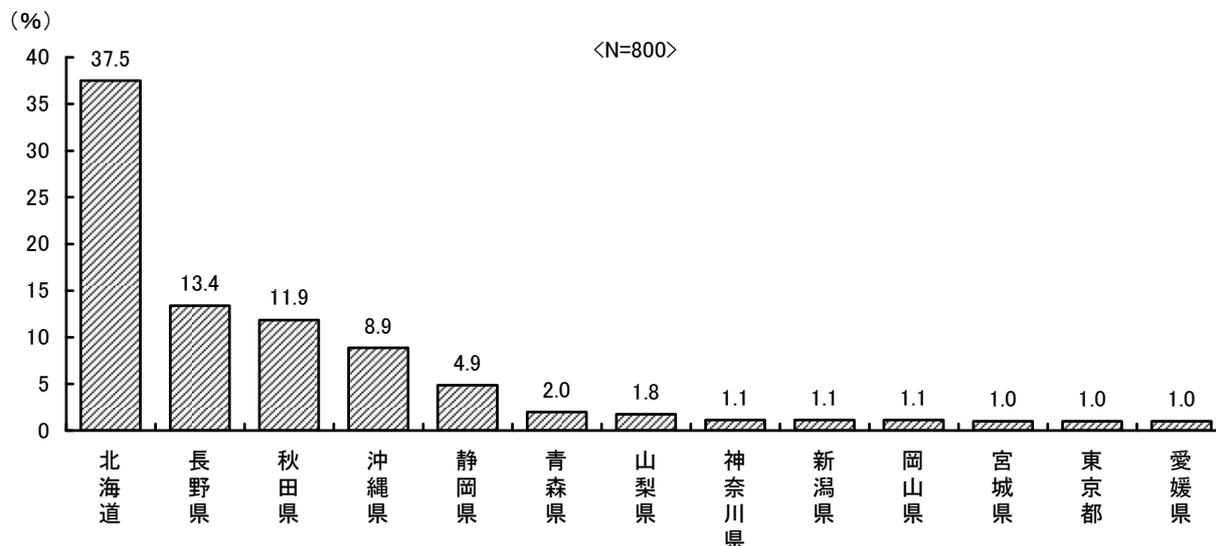
なお、「その他」として中立的な意見もあります。代表的な内容を以下に掲出します。

- ・外見ばかりに気を取られるのは不快だが、最低限は必要
- ・それぞれ考え方が違うが、そう悪い印象はない
- ・周りに不快感を与えないなら本人の好きなようにするのがよい
- ・自分は気にしないが、気にする人はすればいいと思う

17. 空気環境や気候条件が肌に最もよいと思う地域

「北海道」(37.5%)が断然多く、「長野県」(13.4%)、「秋田県」(11.9%)などが続く。
◆いずれの属性でも「北海道」のトップは不動。

図14. 空気環境や気候条件が肌に最もよいと思う地域



空気環境や気候条件が肌に最もよい地域はどこだと思いか聞きました。回答は都道府県名をあげてもらいました。

「北海道」(37.5%)が断然多く、4割弱を占めています。以下、「長野県」(13.4%)、「秋田県」(11.9%)、「沖縄県」(8.9%)、「静岡県」(4.9%)などが続いています。

表13. 属性別に見た、空気環境や気候条件が肌に最もよいと思う地域トップ5

		1位	2位	3位	4位	5位
性別	男性	北海道(44.5%)	長野県(13.8%)	沖縄県(10.3%)	秋田県(5.8%)	静岡県(4.3%)
	女性	北海道(30.5%)	秋田県(18.0%)	長野県(13.0%)	沖縄県(7.5%)	静岡県(5.5%)
年代	20代	北海道(38.5%)	長野県(18.5%)	沖縄県(11.5%)	秋田県(8.0%)	青森県(3.0%)
	30代	北海道(45.5%)	秋田県(14.0%)	長野県(9.5%)	沖縄県(6.0%)	静岡県(5.0%)
	40代	北海道(32.0%)	長野県(14.0%)	沖縄県(11.5%)	秋田県(10.0%)	静岡県(5.0%)
	50代	北海道(34.0%)	秋田県(15.5%)	長野県(11.4%)	静岡県(8.0%)	沖縄県(6.5%)
地域	首都圏	北海道(39.0%)	秋田県(13.3%)	長野県(10.3%)	沖縄県(8.5%)	静岡県(6.8%)
	関西圏	北海道(36.0%)	長野県(16.5%)	秋田県(10.5%)	沖縄県(9.3%)	静岡県(3.0%)

- いずれの属性でみても「北海道」が断然トップとなっています。2位以下をみてもほぼ同様の県が上位を占めており、端的な違いはみられませんが、2位と3位には「長野県」「秋田県」があげられることが多くなっています。

18. その地域の空気環境や気候条件が肌によいと思う理由

【北海道】は“自然”、“空気のきれいさ”、“空気の乾燥”などが多い。

表14. その地域の空気環境や気候条件が肌によいと思う理由(上位5県)

【北海道】	【長野県】	【秋田県】
自然が豊か(59件)	自然が豊か(17件)	きれいな人が多い(63件)
空気がきれい(45件)	空気がきれい(16件)	冬でも乾燥しない(5件)
湿気が少ない(33件)	緑が多い(13件)	湿度がちょうどよい(5件)
梅雨がない(32件)	山が多いから(10件)	自然が豊か(3件)
気候が涼しい(20件)	気候が涼しい(8件)	寒い(2件)
緑が多い(13件)	空気が澄んでいる(6件)	日差しがあまり強くない(2件)
空気が汚染されていない(10件)	高原だから(5件)	紫外線があまり強くない(2件)
空気がさわやか(8件)	湿気が少ない(4件)	水がいい(2件)
空気が澄んでいる(7件)	避暑地だから(4件)	空気がきれい(1件)
乾燥しすぎない(6件)	空気が汚染されていない(3件)	空気が汚染されていない(1件)
空気が美味しい(4件)	ほどよく湿度がある(2件)	自分の出身地(1件)
寒い(4件)	水がいい(2件)	
日差しがあまり強くない(4件)	肌がきれいな人が多い(1件)	
夏過ごしやすい(4件)		
気候が安定している(4件)		
紫外線があまり強くない(3件)		
自分の出身地(3件)		
気温がちょうどよい(2件)		
肌がきれいな人が多い(2件)		

【沖縄県】	【静岡県】
湿度が高い(16件)	気候が温暖(28件)
湿気が少ない(11件)	空気がきれい(1件)
気候が温暖(9件)	空気が澄んでいる(1件)
自然が豊か(6件)	空気が汚染されていない(1件)
空気が汚染されていない(5件)	水がいい(1件)
湿度がちょうどよい(4件)	きれいな人が多い(1件)
寒暖の差がない(3件)	自分の出身地(1件)
長寿な県だから(3件)	
空気がきれい(1件)	
気温がちょうどよい(1件)	

その地域の空気環境や気候条件が肌によいと思う理由を具体的にあげてもらいました。上位5県について、地域別に整理したものが表5です。

【北海道】は、「自然が豊か」(59件)、「緑が多い」(13件)といった“自然”に関する内容や、「空気がきれい」(45件)、「空気が汚染されていない」(10件)、「空気がさわやか」(8件)、「空気が澄んでいる」(7件)、「空気が美味しい」(4件)といった“空気のきれいさ”、さらに「湿気が少ない」(33件)、「梅雨がない」(32件)といった“空気の乾燥”、逆に「乾燥しすぎない」(6件)といった内容、また「気候が涼しい」(20件)、

「寒い」(4件)、あるいは「日差しがあまり強くない」(4件)、「紫外線があまり強くない」(3件)などがあげられています。

【長野県】は、「自然が豊か」(17件)、「緑が多い」(13件)、「山が多いから」(10件)、「高原だから」(5件)の“自然”に関する内容や、「空気がきれい」(16件)、「空気が澄んでいる」(6件)、「空気が汚染されていない」(3件)の“空気のきれいさ”、「気候が涼しい」(8件)、「湿気が少ない」(4件)の“気候”などがあげられています。

【秋田県】では、「きれいな人が多い」(63件)が断然多く、そのほかには「冬でも乾燥しない」(5件)、「湿度がちょうどよい」(5件)などがわずかにあげられている程度です。

【沖縄県】では、「湿度が高い」(16件)、「湿気が少ない」(11件)、「湿度がちょうどよい」(4件)などの“湿度”に関する内容が多くあげられています。そのほか、「気候が温暖」(9件)や、「自然が豊か」(6件)、「空気が汚染されていない」(5件)などがあげられています。

【静岡県】では、「気候が温暖」(28件)に集中しています。

なお、湿度については、いずれの地域でも“湿度がないから(からっとしているから)肌によい”という見方と“適度に湿り気があるから肌によいとする”見方が混在しています。